

(様式1)

## 平成17年度 事務事業評価表

記入年月日	平成17年4月7日		記入者		内線	3185
部 名	都市部	課 名	都市交通計画課		課長名	大村秀雄
事務事業名	相模線複線化等促進期成同盟会負担金					
予算上の事務事業名	相模線複線化等促進期成同盟会負担金					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	33120		
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして					
政 策 名	第3章 利便性の高い公共交通網の確立をめざします					
基本施策名	第1節 利便性の高い公共交通網の確立					事業開始年度
施 策 名	第2施策 利便性の高い公共交通網の整備					平成9年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等						
3 個別計画の概要			概要			
計画名						
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分 計画の策定・推進 ▼						
5 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)		
神奈川県、沿線市町・経済団体を構成員とする「相模線複線化等促進期成同盟会(会長:相模原市長、事務局:相模原市都市交通計画課)」を組織し、「JR相模線の全線複線化の早期実現をめざし、輸送力増強を促進するとともに、沿線地域の発展を図るため、積極的な活動を行っている。」				相模線複線化等促進期成同盟会		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
要望活動・・・10月、2月の2回、JR・国土交通省・地元選出国議員に対し実施。 全国鉄道整備促進協議会への参加・・・総会・全国大会(7月)、事務担当者研修会(9月)に出席。 啓発事業(利用者増加を目的に実施)・・・10月に茅ヶ崎市においてハイキングを実施、682名参加。						
6 関連・類似事業や他市の状況						
神奈川県、沿線市町・農協・経済団体・観光協会、JR東日本では、「相模線沿線魅力アップ推進会議(事務局:神奈川県県央地区行政センター)」を組織し、神奈川県の南北を結ぶ大きな縦軸としての相模線の特性を生かし、南北間の交流の活性化に資するため、にぎわきの創出や魅力ある地域づくりを図ることを目的に活動している。(本市も参画)						
7 事業費の推移 [単位:千円]						
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業費	100	100	100	100	100	
一般財源	100	100	100	100	100	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	2,517	2,403	2,421	2,421	2,421	
事業コスト合計(a)	2,617	2,503	2,521	2,521	2,521	
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)						
主たる事業名	啓発事業			対象名称 (単位)	参加者数(人)	
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業コスト(主たる事業)	796	766	774	774	774	
対象数	559	581	682	700	700	
単位あたり経費(円)	1,424	1,318	1,135	1,106	1,106	
前年度比		0.93	0.86	0.97	1.00	

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	啓発事業実施回数（回）	指標式と指標の説明	開催回数		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）
実績	1.0	1.0	1.0		
目標	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
目標達成度	1.00	1.00	1.00		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	啓発事業参加者数	指標式と指標の説明	啓発事業参加者数をもって、沿線地域住民への相模線複線化等促進期成同盟会活動の周知状況指数とする。		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）
実績	559.0	581.0	682.0		
目標	500.0	600.0	600.0	700.0	700.0
目標達成度	111.8	96.8	113.7		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	[	良好な状態を維持する事業			
	[	概ね良好な状況である事業			
	[	見直しを行う必要がある事業			
	[	抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		神奈川県及び、沿線市町・経済団体と協働して、継続的に実施する必要がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
相模線複線化の必要性や同盟会の活動を広く知らしめるため、平成17年度に、同盟会ホームページを立ち上げる予定。			複線化に向けた、財源スキームの確立。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			